

現代ドイツ語における指示代名詞 **der** の特徴について

吉田光演 (広島大学総合科学研究科)

## 0. 問題設定

ドイツ語では名詞句を代理する指示表現として指示代名詞 **dieser/jener** があるが、他に定冠詞・関係代名詞と似た指示代名詞 **der/das/die** がある。機能的には人称代名詞 **er/es/sie** が汎用的であるが、日常会話では **der** が指示表現として頻出し、教科書でよく使われる。しかしその特徴と機能についての研究は進んでいない。**der** の直示・照応用法、特に人に対する直示用法では注意が必要。指示代名詞 **der** の特徴について具体例に沿って概観し、基本的な問題点を指摘する。

1. 直示 (Deixis)としての指示代名詞 **der** および 照応表現としての **der**

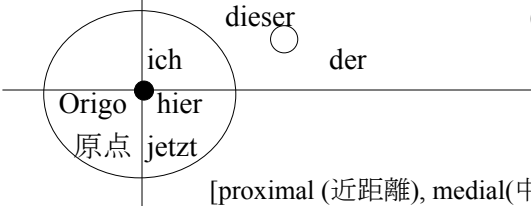
1. 1 直示 話者が発話の現場にある人や物を言語表現によって指示することを、Bühler (1934)は Deixis (直示)と呼んだ。空間直示に関係する指示代名詞は、Bühler が規定した Zeigfeld (指示場)において、話者の Origo (ich, hier, jetzt) を原点とし、Origo からの距離 (近・遠)を表す語として語彙化される。**dieser** は、話者から近距離にある対象物を指し示す。

(1) **Dieser** Platz ist im Nordend. Zusatzschild an der U-Bahn-Haltestelle soll für eine eindeutige Zuordnung zum Stadtteil sorgen. ("Frankfurter Allgemeine", 写真の説明: 直示=場面指示)

(2) **Tagungsraum Schloss**<sub>1</sub> **Dieser Tagungsraum**<sub>1</sub> trägt viel Geschichte in sich. **Er**<sub>1</sub> ist einer von zwei Tagungsräumen in dem Geburtshaus **des weltberühmten Physikers Karl-Ferdinand Braun**<sub>2</sub>. **Dieser**<sub>2</sub> ist der Erfinder der Braunschen Röhre des Fernsehers. (Web 検索例) (指標 1,2 は対象区別)

(3) Mutter<sub>2</sub> und Tochter<sub>1</sub> waren da; **diese**<sub>1</sub> (= die Tochter) trug einen Hosenanzug, **jene**<sub>2</sub> (= die Mutter) ein Kostüm. (Duden online) **dieser** 後者、**jener** 前者といった対句で使用される。

☞ **dieser** は、(1)で場面指示を行う直示。(2)のように文脈上の談話対象(discourse referent)を指す照応表現(Anapher)にもなる(**dieser**<sub>2</sub>)。

(4)  [proximal (近距離), medial(中間), distal (遠距離)] (コ・ソ・アに類似)

Lyons (1999)は空間直示について、[proximal (近距離), medial(中間), distal (遠距離)] の区別。テキストにおいて新出名詞句と同一指示解釈をもつ表現を再掲する際、同じ句を繰り返すのではなく、**er/sie** のような人称代名詞によって言い換える照応表現(Anapher)が用いられる。

☞ 定冠詞・関係代名詞と類似した指示代名詞 **der/die/das** (**der** で代表) も会話場面に存在する人や物を指す直示の働きと、照応表現としての働き。

(5) Das ist **mein Bekannter**. **Den** habe ich in Berlin getroffen (standardsprachlich: Ich habe **ihn** in Berlin getroffen.) (Duden 9, Richtiges und Gutes Deutsch, 2009) (写真を指して説明する場合等)

(6) Suchst du **deinen Bruder**? **Der (Er)** kommt gleich. (DUDEN online)

(7) **Der (derjenige, welcher)** sich immer für mich einsetzt, ist mein Freund. (DUDEN online)

DUDEN も、(5)のように **der** の使用は口語的であり、丁寧でないことを指摘。しかしそれ以上説明がないため、いつどのように使えるのか定かでない。直示・照応の **der** が標準的でなく、「日常会話に限定された、否定ニュアンスをもつ」という見方が一般的。「**der** + 名詞」の場合、定冠詞と重なるため、指示代名詞とせず、定冠詞 **der** の独立用法とする立場もある (Gunkel 2006)。

しかし現代ドイツ語会話では指示代名詞 **der** は多い。教科書に **der** が頻出。(教科書より)

(8) A: Schau mal, da ist ein Regenschirm. Ich brauche einen. B: Hast du keinen Regenschirm?

A: Nein, ich habe keinen. B: Aber den finde ich nicht schön. (Lagune Kursbuch Klett 2005)

(9) Hier ist der neue Wein. Der schmeckt ausgezeichnet. (ここにできたてのブドウ酒があります。こいつはじつにうまいんだよ。) (話一準公・私) (日本のドイツ語参考書 A, 1980)

(10) Arbeiten Sie noch mit den Leuten zusammen? -- Nein, mit denen will ich nichts mehr zu tun haben. まだあの人たちと一緒に仕事をしているのですか。—いいえ、もうあんな人たちとはかかわり合いたくありません。(話一準公・私) (日本のドイツ語参考書 A)

(11) □ Entschuldigung, wie viel kostet der Salat?

○ Der kostet 50 Cent. □ Ganz schön teuer! (日本の教科書 B)

(12) 定冠詞の独立用法。定冠詞は単独で指示代名詞として用いられる。

A: Siehst du den Typ da? あそこにいる人が見える?

B: Den kenne ich nicht. Wer ist das? あの人のことは知らないな。あれは誰なの?

「通常は文頭に置き、アクセントを置く。(ドイツ語参考書 C, 2008. 原著 Reimann, M.

"Grundstufengrammatik für Deutsch als Fremdsprache", Max Hueber 1999)。 ※ここでは

「jener/jene/jenes は現代ではあまり使われない」ことも指摘している。

☞(8)で 話者が話題化した ein Regenschirm が指す対象を、DER によって再度直接指すもので、距離についての指定がないので汎用的。**der** は定冠詞の同定機能とは異なる。定冠詞 + 名詞は、話者・聞き手共通の知識範囲に既に確立されて同一化が済んだ既知の対象に使われる。

(13) Ein Auto fuhr vorbei. Die Bremsen/\*DIE Bremsen quietschten. (車が通りがかった。車のブレーキがきしんだ)。(Gunkel 2006. アクセントがある定冠詞は連想的定の用法で使えない)

☞ 指示代名詞 **der** がどんな場面で使用できるかについて、検討されずに提示。その結果不適切とも思われる使用が生じることもある。特に、人が対象となる場合である。☞

(14) Ich hatte vor, alleine hierher zu kommen, aber die wollte auch unbedingt mit mir *kommen*.

「私は一人でここへ来るつもりでいたが、彼女はどうしても一緒に来たかった。」「定冠詞と違ってアクセントを置いて読みます。指示代名詞は、いわば定冠詞の代名詞的用法のようなものと考えられることができるでしょう」。(日本の参考書 D, 2008) (cf, 杉原 (2012))

☞(14)では先行詞がなく、**die** が直示的に使用され、「彼女」と翻訳されるが、場面近くに指示対象である女性がいる可能性は排除されない。これを彼女が聞いていれば失礼に聞こえる。

## 1. 2. 文脈照応的な指示代名詞 **der** (Anapher)

人称代名詞 **er/sie/es** が談話対象と照応する表現として使われるように、**der** も文脈照応的。

(15) Sind wir dahingegangen. [Die Schwiegermutter]<sub>+th</sub>, [die]<sub>th</sub> ist mitgegangen, [die]<sub>th</sub> ging mit, die Alte.

Aber [die]<sub>th</sub> ist nachher abgefahren. (E. Runge, Bottroper Protokolle (Clemens K.), 14)) (Zifonun et al.

IDS 1997, 560) 「二重のテーマ化」(左方転移 Linksherausstellung: 名詞句+ **der/die**)

(16) Da **er** mit seinen 9 Jahren keinen Kinderwecker mehr möchte, habe ich **ihm** einfach einen

Fotowecker mit Sprachaufzeichnung bestellt. **Den** finde ich richtig gut, denn der ist sehr persönlich.

(Web 検索例。人称代名詞と指示代名詞の併用。照応関係の区別)

## 2. 指示代名詞 **der** の先行分析

2. 1 直示としての **der** の分析 近距離直示の **dieser** に対して、中立的直示の **der** の用法は詳しく分析されていない。Duden, IDS Grammatik の記述では、①物を指す時、口語体で **der** がよく使われ、②ほとんどの場合強勢アクセントを伴い、③文頭（前域）に配置される。④人間に対して使用された場合、侮蔑的・否定的ニュアンスを伴うことが多いと分析される。

(17) Erstaunt: "Was macht denn **der dort**?" - Hier kann man nur die volle Form sagen, zum Beispiel:

"Was macht denn **der junge Mann dort**?" In diesem Fall ist "der" aber nicht Ersatz für das Personalpronomen, sondern elliptisch für "der junge Mann". Außerdem fehlt dann die Kennzeichnung des Erstaunens in dem Satz. (Web 検索例。人称代名詞による置き換え不可能)

## 2. 2 照応表現としての **der** の分析

(18) WDR Lindenstraße Zuschauerpost 2012/3 Sympathien vs. Antipathien (Web コメント)

(a) Frannie, wie steht es bei dir mit **dem Doktor Stadler**? **Den** finde ich voll sympathisch.

(b) Ich finde es gut, dass jemand nochmal **den Egon Kling** als Lieblingsdarsteller genannt hat, ich fand **den** auch immer überaus sympathisch und sehr gut dargestellt und (...)

(c) (...) Ja, und **die bayrische Dummlichkeit Ines** - **die** hat mir echt den letzten Nerv geraubt!

☞ 照応用法の **der** は比較的議論されており、以下の点が指摘されている。

(19) Zifonun et al. (1997) IDS, 558 „Anadeixis“ (照応直示表現) **der** の機能

・人称代名詞も Anadeixis もテーマ進行に役立つが、その仕方は異なる。代名詞はテーマが確立済みで、新規の方向付けが不要な場合に使用。前の発話で既に話題になっている場合が多い。

☞ [話題<sub>1</sub> (主語) ... NP2... ] [ 人称代名詞 1 ... ]

Anadeixis (照応的直示) は、先立つ文脈で、①該当対象がはじめてテーマ化、あるいはレーマになっている場合、②該当対象が他の、前に言及された話題と「競合」状態にあるときに使用。

・レーマ領域の中で、たやすく（近い距離、直前で）照応直示の対象が存在する。

・照応の候補が複数あっても、指示作用によって関係付けがはっきり明示できる。」 (IDS)

↓ ↓ 前文の焦点領域

(20) (...) [**sie**]<sub>th1</sub> betrachten [**eine Leibwache von Katholiken**]<sub>+th2</sub> mit, und [**diese**]<sub>th2</sub> erholen den Anspruch, näher am Wagen zu reiten als die Hugenotten. (H. Mann, Die Jugend des Königs Henri Quatre, 18, IDS)

(21) **Ich** wollte es nur erwähnen. **Wir** haben noch genügend Zeit, bis **wir** Remion erreichen. Bis dahin kremple **ich** euch ... »Ja, **ich** habe **Gründe**, aber **die** möchte **ich** im Moment nicht erläutern.«

(Perry Rhodan Ara Toxin 3 – Nekrogenesis) (継続話題 = ich/wir, 新たな話題 Gründe)

## 3. 指示代名詞 **der** の指示作用（直示・照応）の特徴は？

(22)[A] 「指示代名詞 **der** は文頭に出やすい。」 ☞ 文頭（話題）位置が多いが、文中（中域）も現れる。必ずしもアクセントを伴うとは限らない。文中の **der** は対比的・選択的ではない。

(22)[B] 「指示代名詞は人に対して使用される場合、否定的ニュアンスを伴う。」 ☞ 否定的ニュアンスが加わる場合もあるが、肯定・共感が含まれることもある。両極的だが、感情的・共感が伴うのは確か。（心理的な共感・感情移入→談話の注意の場への導入）

(22)[C] 「照応用法では、前文の焦点領域（レーマ）の対象と照応。」 ☞ この用法が機能的に人称代名詞と区別されるが、実際には話題継続の場合もあり、幾つかのパターンがある。

[I] 話題 1(主語/目的語) ---- [ 焦点 2 ] . ← [Der/Den/Die/Das2 ... ] (話題転換、焦点を話題に) 構文の平行性 ([Akkusativ -V-主語--] [Den/Die/Das (Akk) V... ] 対格話題保持 (Ihn/Sie/\*es 前域奇妙)

[II] 話題 1(主語) ---- [ (焦点 2) ] . ← [Der/Den/Das1 .... ] (話題継続、会話的?)

- (23) Ich hab nach dem Hersteller gesucht aber hab den nicht gefunden. (Web 検索例) 中域の den
- (24) Mein Freund hat von Finnair eine interessante E-Mail zum Thema Wein bekommen, warum habe ich die nicht bekommen? (Web 検索例) 中域の die
- (25) Meine Mama, die ist super (Web 検索例、歌のタイトル、肯定的 die, 左方転移)
- (26) Neue Ausgabe, alter Inhalt, aber der ist großartig. (Amazon, DVD コメント), モノ・事について
- (27) „Sagen Sie mir, was halten Sie von Ringelmatz?“ - „Der ist großartig.“ (Die Zeit)
- (28) »O dieser Falzl!« meinte Rotter. »Der ist großartig! der versteht es, eiserne Disziplin zu halten!... « (Projekt Gutenberg, Eduard Graf von Keyserling: Die dritte Stiege) 話題 1 -- 人 2 (主語) -- der1 (話題継続)
- (29) Ich war heute mit meinem Sohn nach den Schulranzen gucken. Da er so klein ist kommen für ihn 2 Modelle in Frage einmal den Ergobag, den finde ich so klasse, oder den ergo light 912, diesen findet mein Sohn toll. (主語 1 -- 焦点 2 - [den<sub>2</sub>..])
- (30) Ich habe schon seit seinem ersten Auftritt eine ganz große Schwäche für Smoker, und den finde ich nach wie vor unglaublich cool in all' seinen Wandlungen. (主語 1 -- 焦点 2 -- [den<sub>2</sub>..])
- (31) Seinen Titel hat der Verlag ausgesucht, und den finde ich einfach nur toll. Er passt zum Buch und klingt für mich unwiderstehlich. (話題 1 - 主語 2 - [den<sub>1</sub>..])

#### ☞ まとめ

- (32) der は遠近から中立の直示。話者に心理的・物理的に関係する対象物・人を指示する。
- (I) 会話体での der の多用。→ (32)の特徴から直接に帰結。dieser は、人に対しては単体で使いにくい(Dieser ist...あまり表れない „Dieser N“は OK)。(dieser は近接。jener は衰退。)
- (II) 直示での人間への使用の特徴。否定ニュアンス、親近性等。ドイツ語では直示として特化された強調表現 der があり、基本的に話者—聞き手から区別された領域で特定の存在、人間でないモノでもありうる第三者として定義され、モノか人の区別はなくなる。このため、遠距離であるべき人が der と強調されると「あいつは X」と否定ニュアンス。逆に、発話場面にいないが知っている人が心理的近距离として焦点化されれば、「あいつは Y なんだ」と親近感のこもった直示表現となる。(人を表す der が、当該関与人が聞いていない場合にのみ成り立つことに注意)。
- (III) 照応パタンの変異はあるが、人称代名詞 er/sie との比較では、直示 der が指す先行詞が近い範囲にあるという直示の特徴が照応パタンを特徴づけている。(Bosch /Umbach 2007) ☞
- (33a) Peter<sub>i</sub> wollte mit Paul<sub>k</sub> Tennis spielen. Doch er<sub>{i,k}</sub> war krank. (主語 Peter との照応の傾向)
- (33b) Peter<sub>i</sub> wollte mit Paul<sub>k</sub> Tennis spielen. Doch der<sub>k</sub> war krank. (近接の Paul との照応のみ)
- ☞ドイツ語教科書、ドイツ語学習の際にも応用できる。☞ dieser/jener の用法についても注意。

#### 参考文献

- Bisle-Müller, H. (1994): *Artikelwörter im Deutschen*. Tübingen: Niemeyer.
- Bosch, Bosch / Umbach, Carla (2007): Reference Determination for Demonstrative Pronouns. Dagmar Bittner / Natalia Gargarina (Hgg): *Intersentential Pronominal Reference in Child and Adult Language*, ZAS Papers in Linguistics 48. Zentrum für Allgemeine Sprachwissenschaft (ZAS), 2007, S. 39-51.
- Bühler, Karl (1982, 原著 1934): *Sprachtheorie*. Stuttgart: Fischer.
- Duden (2006): *Grammatik der deutschen Gegenwartssprache*. Mannheim: Dudenverlag.
- Duden 9, (2009): *Richtiges und Gutes Deutsch*, Mannheim: Dudenverlag.
- Gunkel, Lutz (2006): „Betontes der“. Breindl, Eva, Lutz Gunkel / Bruno Strecker (Hgg.). *Grammatische Untersuchungen. Analysen und Reflexionen. Gisela Zifonun zum 60. Geburtstag*. Tübingen: Narr, S. 79-96.
- Helbig, G./Buscha, J. (2005): *Deutsche Grammatik*. Berlin et al.: Langenscheidt.
- Lyons, Ch. (1999): *Definiteness*. Cambridge: Cambridge Univ. Press.
- 関口存男 (1960): 『冠詞』第1巻. 三修社.
- 杉原めぐみ (2012) 「ドイツ語のダイクシス研究 —der, er, dieser, da を中心に」, 広島大学総合科学部卒業論文.
- Zifonun, G./Hoffmann, L./Strecker, B. et al. (1997): *Grammatik der deutschen Sprache*. Berlin: Gruyter.
- ※その他、日本で出版された複数のドイツ語教科書から引用。